



イモリのオスとメスは、どうやって見分けるの

はんしょく期には、しっぽの色と動きでわかる

イモリは、水草の多い小川や田んぼ、池、ぬまなどの水の中にいます。腹側がだいたい色をしていて、そこに黒いはん点が入っています。

4～6月ごろ、水温が20℃くらいになると、イモリの産卵の時期がきます。産卵期には、オスのしっぽの表、裏両側が、青むらさき色に変わり、腹のだいたい色が赤っぽくなります。また、水そうなどで飼っているときは、水底で、オスがメスの気を引くための行動をしますので、オス・メスが見分けられます。オスがメスの体の前で、通り道をじゃまするように、体を折り曲げ、しっぽの先をメスの顔の前で、こきざみにふるわせるのです。産卵の準備ができていいるメスなら、オスの首のあたりをおし、オスの後をついていきます。

しっぽの形で見分ける

イモリの体を横から観察すると、オスのしっぽはメスと比べて太く、先の方が急に細くなっています。メスのしっぽは、全体にオスより細く、先方でだんだん細くなっています。また、オスのしっぽのつけ根の下の部分（排出こう）が、メスよりふくらんでいます。

(監修・今泉 忠明)

